

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所長 津曲 孝一

(公印省略)

1. 目的

この参考見積の依頼は、独立行政法人水資源機構で予定している水質保全設備点検整備の積算の参考とするための見積を依頼するものです。

2. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

(1) 参考見積書は、項目毎に必要な金額を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は問いませんが、見積仕様書に示す、項目毎に必要な金額がわかるように記載願います。

(2) 提出期間：令和7年11月19日（水）から令和7年12月3日（水）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前10時から午後16時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構 宛

【担当】木曽川中下流用水総合管理所 経理課

〒495-0036 愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710 FAX 0587-97-1482

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、ファクシミリ又は電子メール（社印があること）により提出するものとします。

3. 参考見積内容

(1) 作業内容

見積仕様書に示す内容とします。

(2) 参考見積徴収範囲

「作業内容」を実施するために必要な単価と労務人数を徴収します。

4. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- （１）提出期間：令和７年１１月１９日（水）から令和７年１１月２６日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前１０時から午後１６時まで
- （２）提出場所：２．（３）に同じ。
- （３）提出方法：２．（４）に同じ。

5. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり送信します。

- （１）送信期間：令和７年１１月２８日（金）
- （２）送信方法：FAXにより送信します。

6. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

7. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

8. その他

- （１）送付資料の電子データを希望される場合は、メールアドレスをお知らせ下さい。
- （２）この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
- （３）ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

－ 以 上 －

蜂屋調整池水質保全設備点検整備

見 積 仕 様 書

令和7年11月

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所

第1章 総 則

1-1 適 用

この仕様書は蜂屋調整池水質保全設備点検業務に適用する。

1-2 概 要

本業務は、蜂屋調整池の水質保全対策の一環として設置している水質保全設備の点検整備を行うものである。

1-3 履行場所

岐阜県美濃加茂市山之上町字桜峠地内 蜂屋調整池

1-4 履行期間

契約締結の翌日から令和7年3月19日までとする。

第2章 一般事項

2-1 履行範囲

本業務の履行範囲は、次に示すとおりとし、準備から後片付け及び報告書作成までの一切とする。

・ 蜂屋調整池水質保全設備点検 1 式

2-2 提出図書

受注者は、以下の提出図書を履行期間までに担当職員へ提出するものとする。

1. 点検業務報告書 1 部

点検業務報告書は、次の内容を網羅するものとする。

- 1) 点検チェックシート
- 2) 不具合箇所報告書
- 3) 履行写真

2. その他

1) 発注者が指示するもの 必要部数

2-3 設備の操作

作業の実施にあたり、設備の運転操作が必要な場合は、必ず事前に担当職員に連絡のうえ、行うものとする。

2-4 環境保全

業務の実施にあたり周辺地域及び水質の環境保全に十分配慮しなければならない。

なお、作業によって水質に影響を与えた場合は、受注者の責任と費用負担により復旧するものとする。

2-5 現場発生品

本業務の履行により生ずる発生品は、受注者の責任で適正に処分するものとする。

2-6 異常発見時の対応

点検の結果、不具合を発見した場合は、速やかに監督員に報告するとともに、対応や対策については監督員と協議するものとする。また、早急な処置が必要な場合は、監督員の指示により対応を要請する場合がある。この場合の費用等については、別途協議するものとする。

2-7 疑義等

仕様書等について疑義がある場合は、担当職員と協議のうえ決定するものとする。

第3章 点検・整備

3-1 施工内容

本業務における点検整備内容は、別添 点検整備内容一覧表に示すとおりとする。

なお、点検整備は本業務期間中1回実施し、空気圧縮機の部品交換は2台分を対象とする。

3-2 設備の主要仕様

本業務における設備の主要仕様は次による。

蜂屋調整池水質保全設備		
＜散気装置＞		
形式	係留用鋼製シンカーによる湖底設置式	3 基
散気管	水平ヘッダー管(2 本) 方式(リング状)	
給気管	自沈エアホース・φ25mm	
＜給気装置＞		
給気装置形式	SLP-55ECD アネスト岩田(株)	2 台
空気圧縮機(シリアル番号 1 号・・・LB0101、2 号・・・LB0087)		
圧縮機形式	SL-140EB・SL-165E	
圧縮方式	オイルフリースクロール式	
設置条件	室内	
制御圧力	0.65～0.8 MPa	
吐出空気量	670 L/min/1 台	
駆動方式	V ベルト	

電動機		
電動機種別	全閉外扇形 E種絶縁 4極	
出力・電源	5.9(2.2+3.7) kW ・ 三相 AC200V 60Hz	
定格電流	23.7(8.9 + 14.8) A	
<電気設備>		
電源供給盤	屋内閉鎖壁掛型	1面

3-3 取替部品

本業務で取り替える部品は次による。

装置名	部品名称	規格・型番	数量	備 考
給気装置	エアフィルター	SLP-55ECD 用	2 個	(2 台分数量)
	Vベルト	〃	4 本	
	グリス	〃	1 式	
	断熱パイプ	〃	2 個	

3-4 作業(一般事項)

- ① 点検整備は、設備の機能維持、信頼性確保及び軽微な機能回復を目的として、目視聴診・打診・触診・点検・計測等を行うことで、設備の不具合の有無をチェックし、重大な故障および事故を未然に防ぐ目的で行うものとする。
 なお、簡易な調整・給油脂・清掃及び予備品交換で簡易に行える補修等は、本業務に含むものとする。
- ② 点検実施日は、事前に監督員に確認したうえで計画するものとする。
- ③ 点検整備に要する油脂類及び交換部品は、受注者がすべて準備するものとする。
- ④ 点検整備の実施にあたり、油の流出等がないよう十分注意するものとする。
- ⑤ 各部の締め付け部は、点検及び増し締めを行うものとする。
- ⑥ 点検整備時に飛散した油脂や軸受部等から流出したグリスの除去、装置及び室内の清掃を行うものとする。
- ⑦ 点検中は、運転中の他設備に悪影響を及ぼさないように慎重に行うものとする。
 なお、他設備の運転を停止させる必要がある場合は、事前に担当職員と協議し、その指示に従うものとする。
- ⑧ 設備の点検作業開始前及び終了後は、担当職員への連絡を確実に履行するものとする。
- ⑨ 水上作業時は、必ず救命胴衣（ライフジャケット）を着用するものとする。
- ⑩ 水中部の点検は、散気装置3基分を行うものとする。
- ⑪ 点検に必要な船舶及び装備等は受注者が用意するものとする。
- ⑫ 点検に必要な電力は、引渡し可能な場所に限り、無償支給するものとする。

3－6 補修塗装

点検整備作業により塗膜に損傷を与えた部分については、補修塗装を行うものとする。

3－7 管理運転

- ① 点検整備作業終了後、空気圧縮機の運転が円滑に行えるよう、各部の調整を行うものとする。
- ② 管理運転は、保護装置の作動確認や各部の設定値確認を含み、運転状態が安定するまで運転を行うものとする。
- ③ 管理運転データは、点検整備前後に記録するものとする。

－ 以 上 －

別添

点検整備内容一覧表

装 置 区 分	点 検 ・ 整 備 種 別				備 考
	点検	清掃	調整	交換	
【空気圧縮機】					
ドレン	○		○		水の排出
異常音・異常振動	○				
換気扇	○				回転が円滑であること
吸込フィルタ				○	1, 2号機 交換
吸気口	○	○			
安全弁	○				作動点検
ベルト	○			○	1, 2号機 交換
吸込ホース ナイロンパイプ	○				ひび割れ・硬化の有無
電磁開閉器	○				
電動機軸受	○				
絶縁抵抗値	○				測定
電圧	○				測定
電流	○				測定
プーリ	○				
温度センサ	○				抵抗値確認
圧力センサ	○				作動確認
アフタークーラ	○	○			
本体ファン	○	○			
ドライヤ	○				表示異常確認
冷凍用圧縮機(ドライヤ)	○				異常音・漏れ確認
オートドレンナ	○	○			分解・清掃

装 置 区 分	点 検 ・ 整 備 種 別				備 考
	点検	清掃	調整	交換	
コンデンサ	○	○			
冷却ファン	○				回転の確認
配管	○			○	断熱パイプ交換
【散気装置】					
散気装置	○				散気状況確認 (水中部)
【送気配管】					
配管全般	○				目視 (水中部・陸上)
計器類	○				目視 (水中部・陸上)
弁類	○				目視 (水中部・陸上)
エアタンク	○				目視(水中部・陸上)
【電気設備】					
盤内部品	○				作動確認(警報確認含む)
盤内配線	○				端子増し締め

蜂屋調整池水質保全設備点検整備

参考図

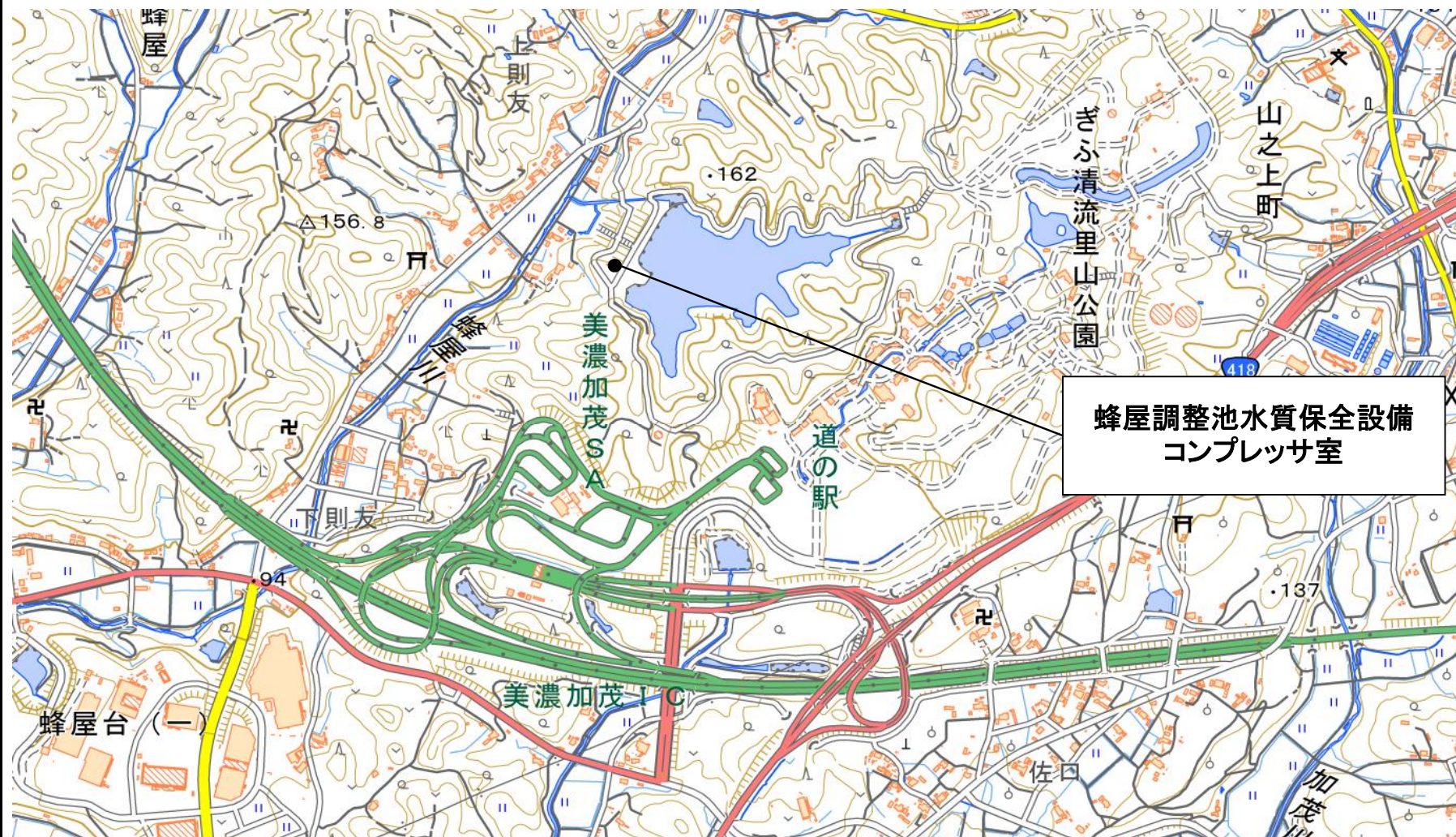
令和7年11月

独立行政法人 水資源機構
木曽川中下流用水総合管理所

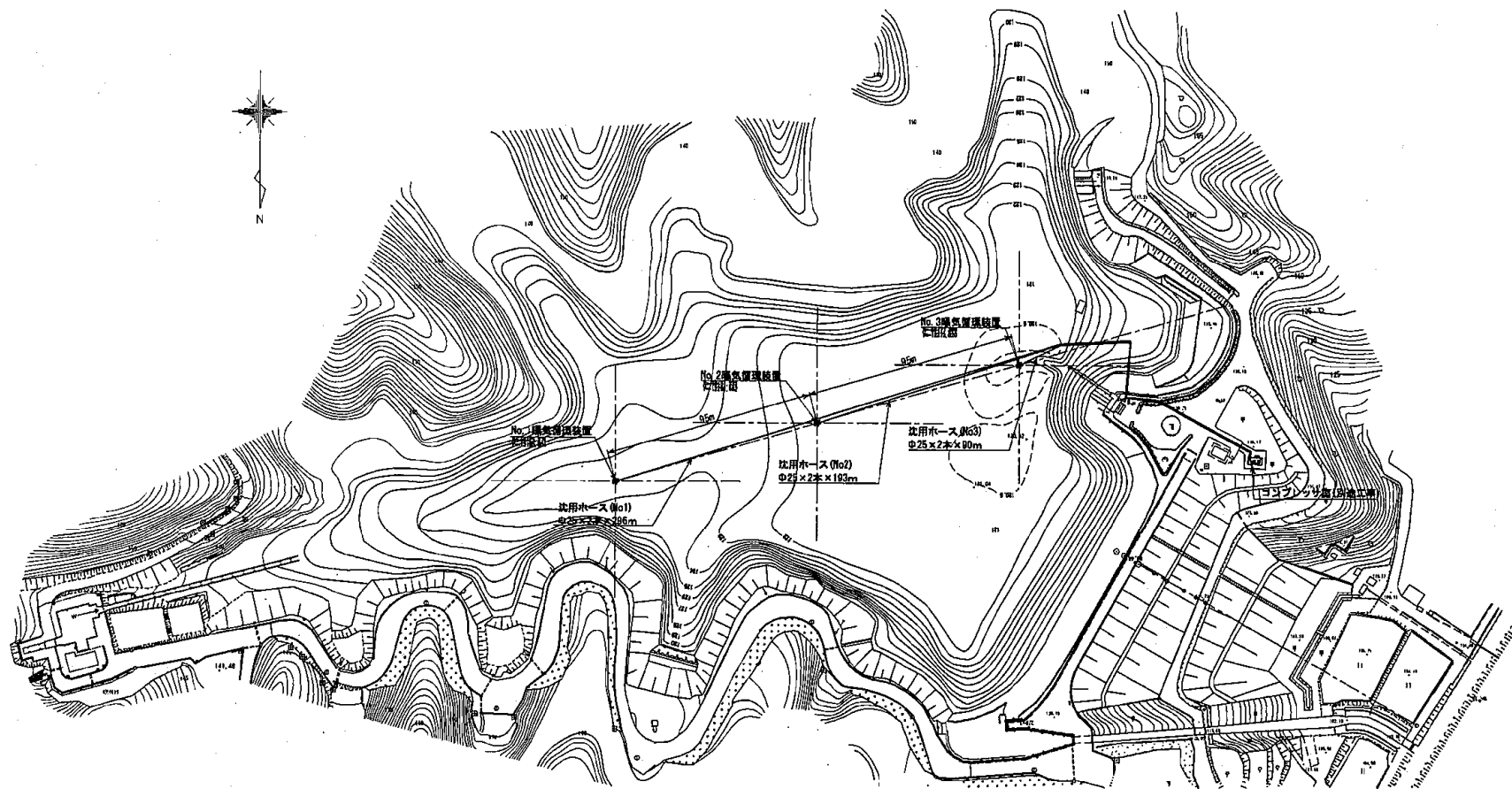
蜂屋調池水質保全設備点検整備

参考図 目次

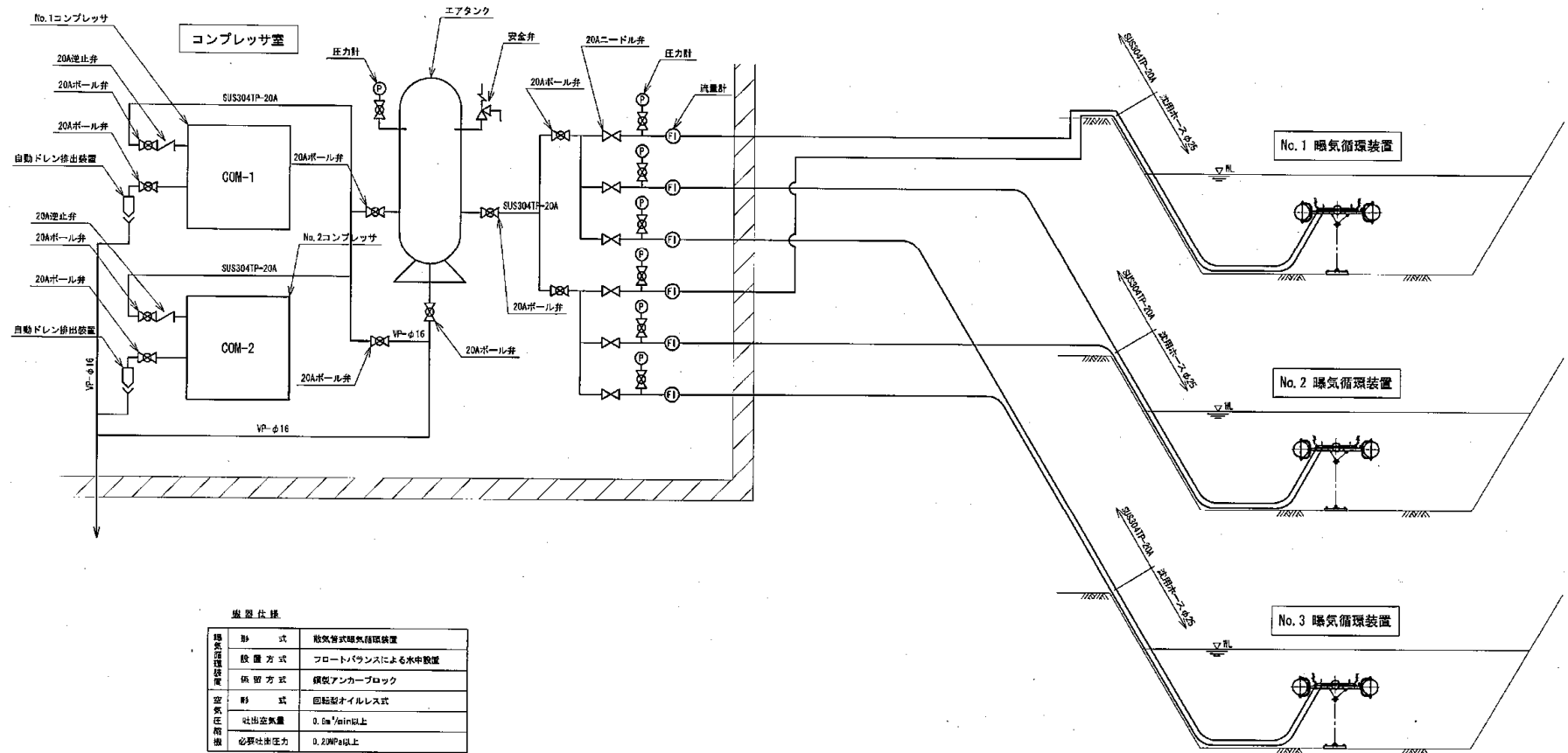
番号	図面名称	整理番号
1	位置図	参考図－1
2	全体平面図	参考図－2
3	曝気設備フローシート	参考図－3
4	送気配管平面図	参考図－4
5	送気配管断面図	参考図－5
6	散気装置据付断面図	参考図－6
7	コンプレッサ室機器配置図	参考図－7
8	空気圧縮機一般図	参考図－8



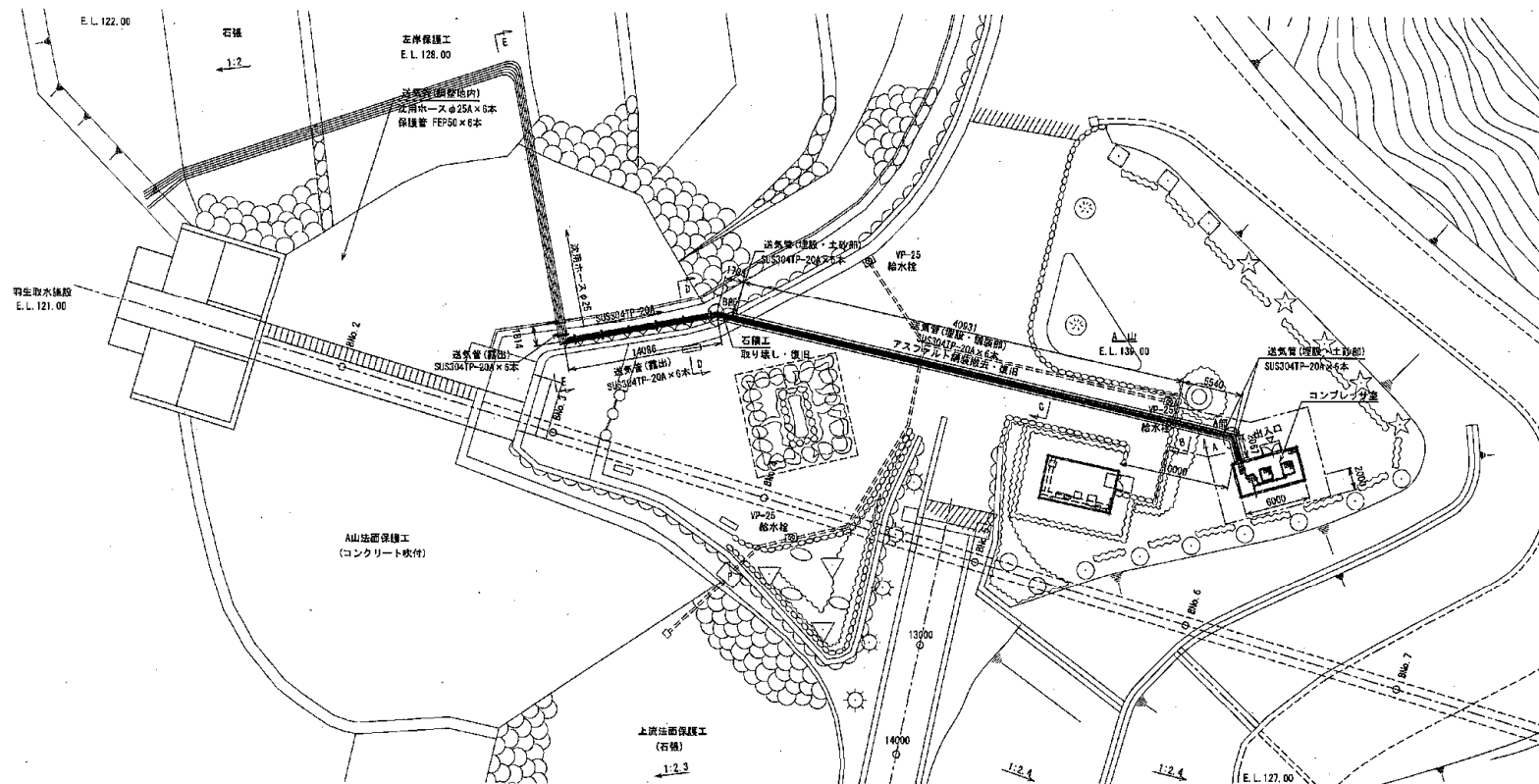
業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名 称	位置図		
登録番号		整理番号	参考図-1
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			



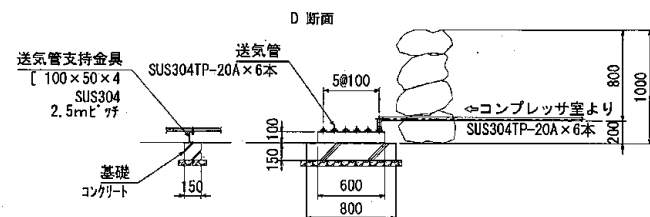
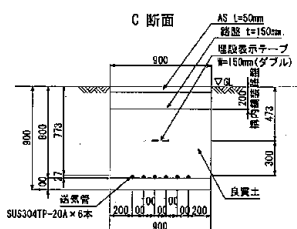
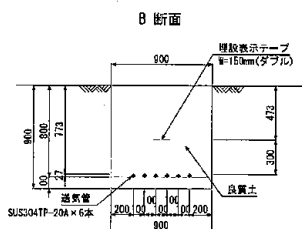
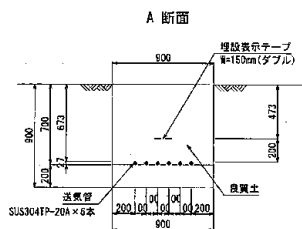
業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名 称	全体平面図		
登録番号		整理番号	参考図-2
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			



業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	曝気設備フローシート		
登録番号		整理番号	参考図-3
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総管理所			

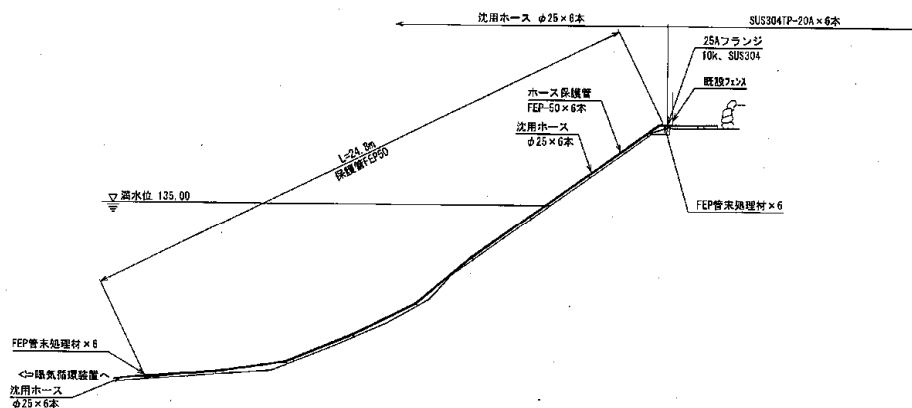


配管土工標準断面図 S=1:20

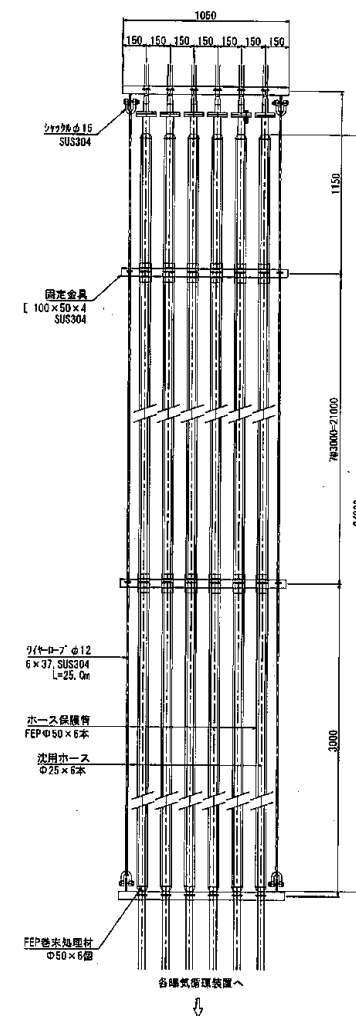


業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	送気配管平面図		
登録番号		整理番号	参考図-4
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総管理所			

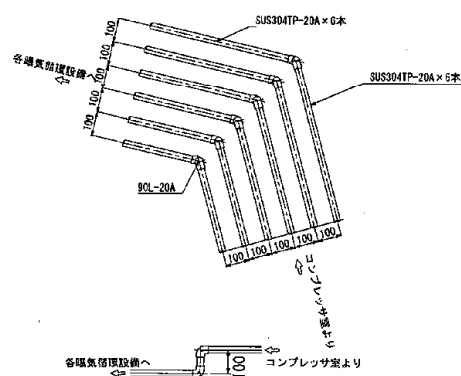
A-A詳細断面図 S=1:100



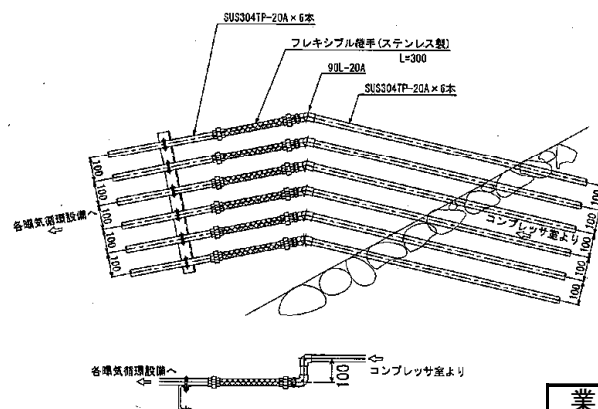
法面部配管布設詳細図 S=1:15



A 部詳細図 S=1:10



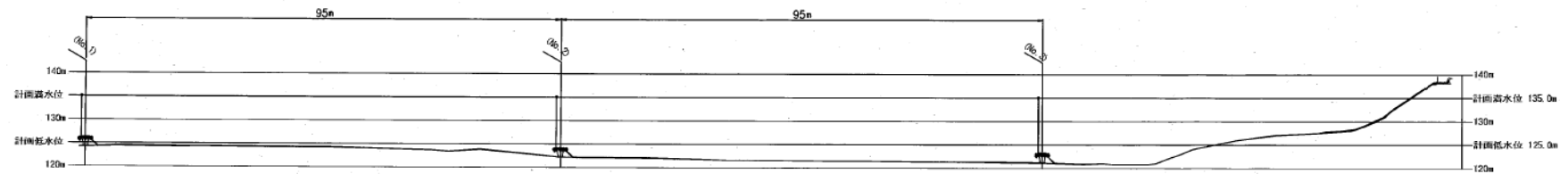
B 部詳細図 S=1:10



業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	送気配管断面図		
登録番号		整理番号	参考図-5
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			

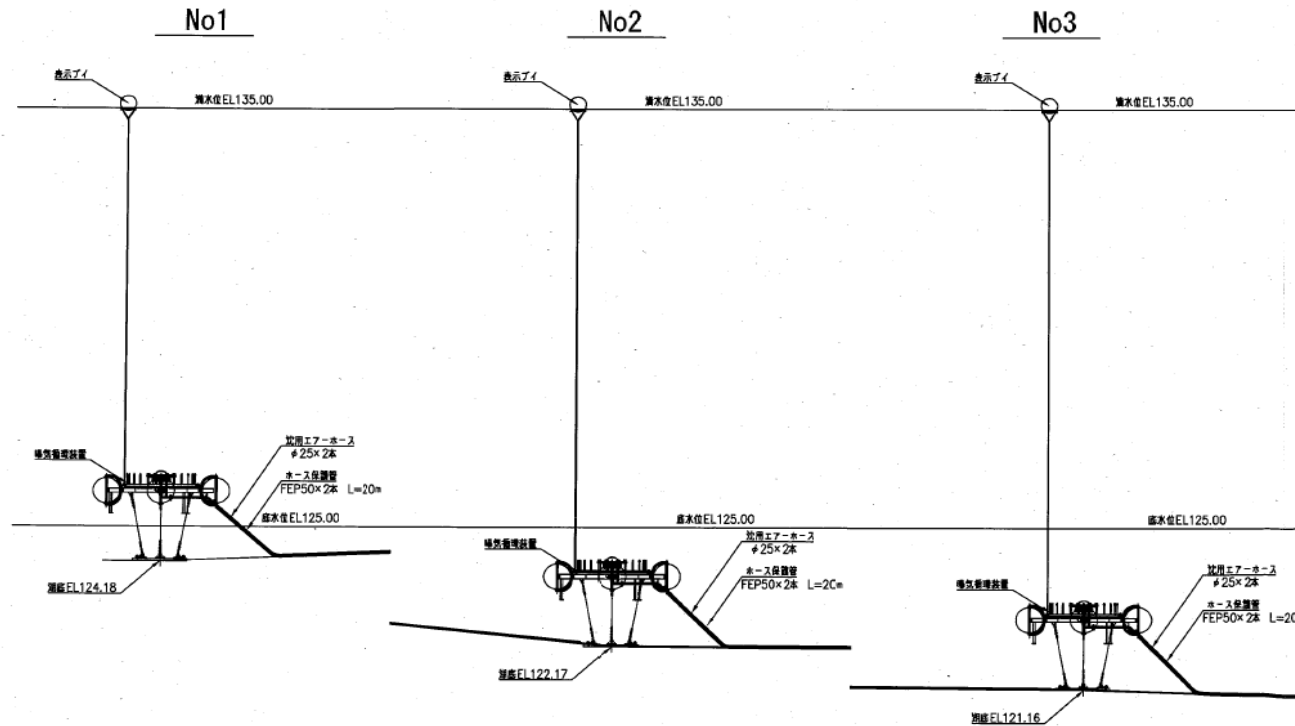
曝気循環装置設置位置縦断面図

Sc:1/400



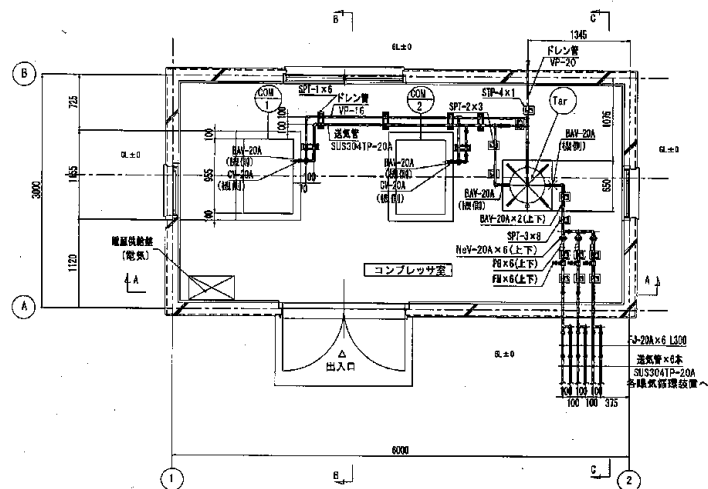
曝気循環装置設置断面図

Sc:1/50

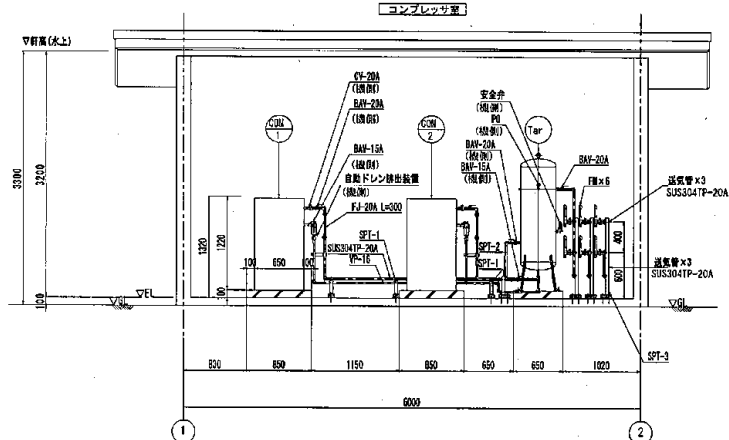


業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	散気装置据付断面図		
登録番号		整理番号	参考図-6
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			

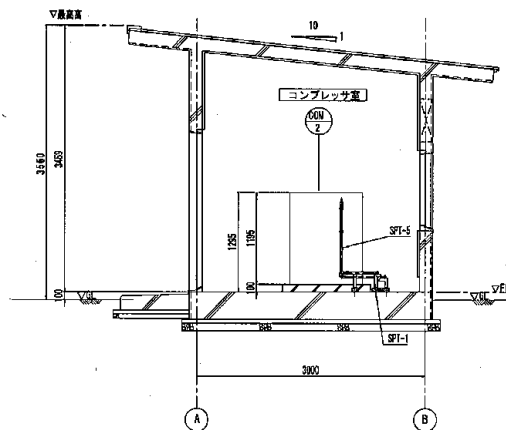
平面図



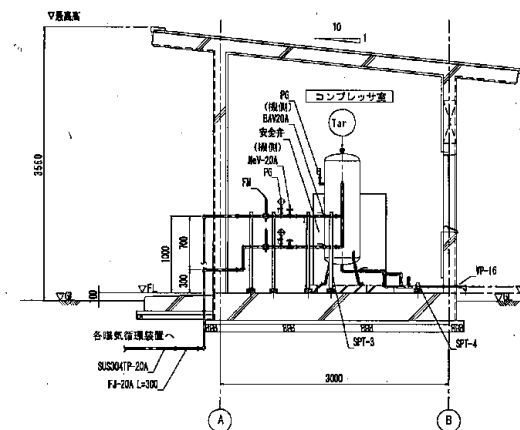
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



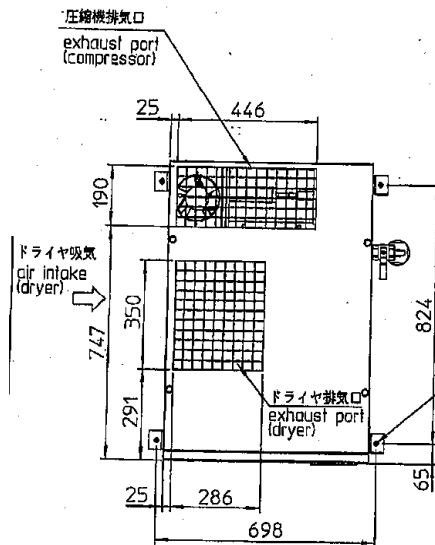
記号	名称	数量	単位	備 考
CON	空気圧縮機	2	基	
Tar	エアータンク	1	基	
SUS304TP	配管用ステンレス鋼管	1	式	sch20s
VP	硬質塩化ビニール管	1	式	
BAY	ボール弁	6	個	JIS10K 20A, ねじ込み
BAV	ボール弁	2	個	JIS10K 15A, ねじ込み
HeV	ニードル弁	6	個	JIS10K 20A, ねじ込み
CV	遮止弁	2	個	JIS10K 20A, ねじ込み
PG	圧力計	6	個	φ78×110mm 空気用
FM	流量計	6	個	20A, オリフィス式, ねじ込み
FJ	フレキシブル継手	8	個	20A, L=300, ねじ込み
SPT-1	配管用サポート	6	個	
SPT-2	配管用サポート	3	個	
SPT-3	配管用サポート	8	個	
SPT-4	配管用サポート	1	個	
SPT-5	配管用サポート	2	個	

注記 1) 特記なき部材材質はSUS304とする。

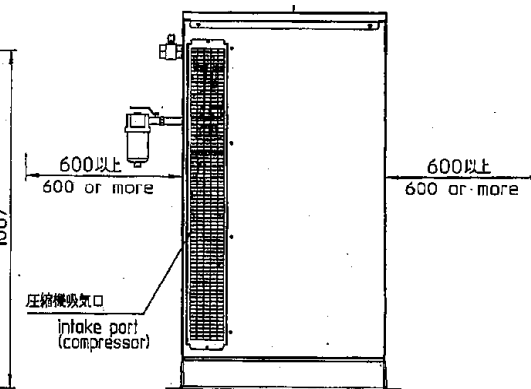
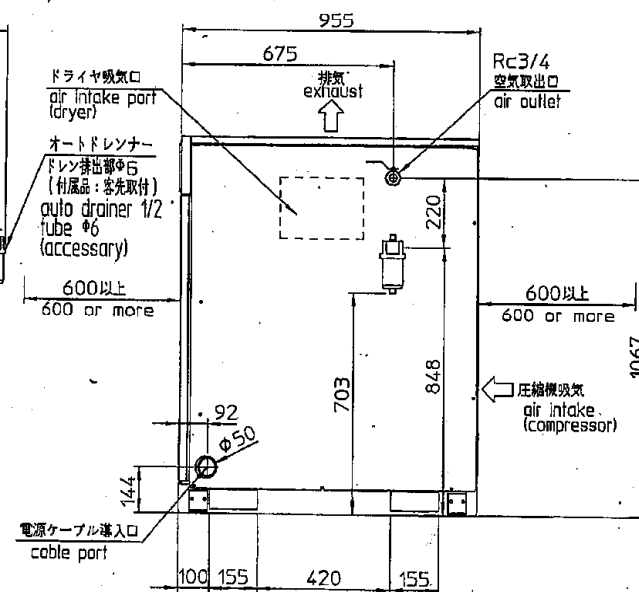
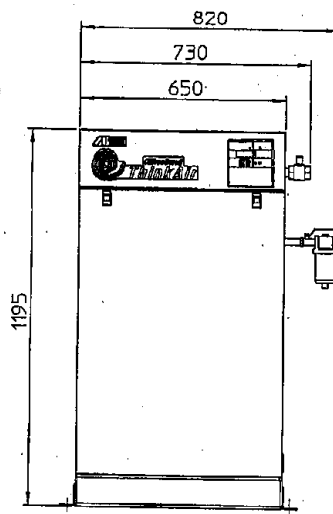
注記 2) 図中(図例)とは、機器付属部品を示す。

注記 3) コンプレッサ室建築構造は、別途工事とする。

業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	コンプレッサ室機器配置図		
登録番号		整理番号	参考図-7
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			



	SLP-55ECD <SLP-55ECD>	SLP-75E8D <SLP-75E8D>
運転圧力 working pressure	0.65~0.8MPa <0.8~1.0MPa>	
吐出流量 F.A.D.	670 l/min <560 l/min>	835 l/min <690 l/min>
運転制御方式 control	マルチステージ(圧力センサ付) multistage pressure switch control with sensor	
本体回転速度 speed	3150/3200 min ⁻¹ <3150/2850 min ^{-1<td>3150 min⁻¹</td>}	3150 min ⁻¹
騒音値 noise level	52dB(A) 15m from front panel 52dB(A) 15m from front panel	53dB(A) 15m from front panel 53dB(A) 15m from front panel
電機出力 motor power	5.9kW (3.7+2.2kW)	7.4kW (3.7kW×2)
電源 power source	3相 AC200V 3 phase AC200V	
重量 weight	295kg	310kg



業務名	蜂屋調整池水質保全設備点検整備		
名称	空気圧縮機一般図		
登録番号		整理番号	参考図-8
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			

○材料

品 名	規 格	数 量	単 価	備 考
エアフィルター	給気装置形式SLP-55ECD用	2 個	円	2台分数量
Vベルト	〃	4 本	円	
グリス	〃	1 式	円	
断熱パイプ	〃	2 個	円	

○労務

点 検 場 所	工 種	内 訳	数 量	備 考
陸上部	点検整備工	人/日 × 日	人	
	電工	人/日 × 日	人	
	普通作業員	人/日 × 日	人	
水中部	潜水土	人/日 × 日	人	
	潜水連絡員	人/日 × 日	人	
	潜水送気員	人/日 × 日	人	

○直接経費

項 目	細 別	数 量	単 価	備 考
潜水機材	送気装置	1 組	円	
	安全機器	1 組	円	
	水中撮影機器	1 個	円	
	船舶	1 日	円	
	その他 ()	1 式	円	